



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月10日

上場会社名 株式会社コーチ・エイ 上場取引所 東
コード番号 9339 URL <https://www.coacha.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 瀨瀬 順史
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 中島 毅 (TEL) 03-3237-8050
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	2,562	△5.8	142	7.2	129	△7.3	59	△19.9
2024年12月期第3四半期	2,720	4.5	133	△9.5	139	△22.1	74	△42.8

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 60百万円(△34.2%) 2024年12月期第3四半期 92百万円(229.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年12月期第3四半期	25	35	—	—
2024年12月期第3四半期	31	97	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	4,625	67.1	3,103	70.5	—	—
2024年12月期	4,345	70.5	3,065	70.5	—	—

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 3,103百万円 2024年12月期 3,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2024年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	3,743	2.8	160	3.1	160	△19.9	73	△34.1	31	06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期3Q	2,366,722株	2024年12月期	2,342,175株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	3,376株	2024年12月期	29株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期3Q	2,354,308株	2024年12月期3Q	2,331,767株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明資料の入手方法）

決算説明資料については2025年11月10日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループを取り巻くわが国の経済は、企業収益及び雇用情勢の改善が続いたことにより、緩やかな景気の回復が続いています。一方で、不安定な国際情勢を背景とした原材料価格・エネルギー価格の高騰のほか、アメリカの通商政策等の政策動向により、依然として先行き不透明な状況が続いています。このような環境のなか各企業においては、不確実な経営環境下での戦略の見直し、イノベーションの実現に向けた持続的な組織変革や次世代リーダーの育成が引き続き急務となっています。

当第3四半期連結会計期間において当社グループは、引き続き「多様な顧客ニーズへの対応」「新規顧客創出の推進」「生産性の改善による利益率向上」を主なテーマとした投資および営業活動に注力いたしました。

「多様な顧客ニーズへの対応」「新規顧客創出の推進」においては、次世代リーダーの開発を通じて組織開発を推進するサービスである「DCD (Driving Corporate Dynamism)」をリニューアルしたほか、複数の大規模イベントの企画・開催、執行役員による執筆著書『医療現場の変容を促すシステムック・コーチング入門』（日経BP社）の発行など、各種施策を実行いたしました。

「DCD」のリニューアルに際しては、近年求められるリーダーシップの開発に適した、より体験的かつ実践的なプログラムへとアップデートいたしました。顧客ニーズに即した内容へのリニューアルにより、新規顧客の獲得に加え、リピート受注の提案増加が見込まれます。

また、約200名の顧客に参加いただいた「COACH A summit 2025 変革の重力を、どう超えるか」と題した大規模イベントを開催したほか、AIコーチングの普及を目指した「CoachAmit Day'25」を実施するなど、より強固な顧客関係の構築および新規顧客創出を目的とした施策を実施いたしました。

さらに、日経BP社より発行した『医療現場の変容を促すシステムック・コーチング入門』は、Amazonの医療経営・看護教育カテゴリで上位にランクインするなど高い注目を集めております。

これらの取り組みによりパイプラインは順調に積みあがったものの、大規模案件の受注リードタイムの長さやプロジェクト開始時期の期中内変更等を起因とし、受注高および売上高については当中間連結会計期間に引き続き計画に遅れが発生しています。一方で、業務効率化の推進等によって営業費用を抑制したため、営業利益は前年同期および期初計画を上回って着地いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,562,389千円（前年同期比5.8%減）、営業利益は142,670千円（前年同期比7.2%増）、経常利益は129,711千円（前年同期比7.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は59,677千円（前年同期比19.9%減）となりました。

なお、当社グループはコーチング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。また、当第3四半期連結累計期間における経営成績の分析は下記のとおりです。

(売上高)

特に「組織開発ビジネス」において、当第3四半期連結累計期間の売上高に大きな影響を及ぼす2024年度下半期から2025年度上半期にかけての受注がその前年に比べ減少した結果、売上高は2,562,389千円（前年同期比5.8%減）となりました。

(売上原価)

AIコーチングなどコーチング関連のシステム運用保守や委託コーチに係る業務委託費の増加などにより、売上原価は、1,464,078千円（前年同期比3.3%増）となりました。

(販売費及び一般管理費)

昨年実施した営業強化・サービス品質向上のための人事異動や、業務効率化に伴う人件費や派遣料の減少、昨年実施したオフィス増床に付随する事務用消耗品費の減少により、販売費及び一般管理費は、955,640千円（前年同期比18.4%減）となりました。

(営業外損益)

営業外収益は5,990千円（前年同期比13.5%減）となりました。主な内容は、普通預金から生じる受取利息3,223千円です。営業外費用は18,949千円（前年同期計上なし）となりました。主な内容は、円高傾向による為替

差損18,162千円です。

(特別損益、親会社株主に帰属する四半期純利益)

特別利益は生じませんでした。特別損失は19,926千円(前年同期比31,545.2%増)となりました。主な内容は、中国における市場環境変化に対応するための連結子会社COACH A Co., Ltd. (Shanghai)の合理化に伴う事業構造改善費用17,723千円です。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は59,677千円(前年同期比19.9%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,625,828千円(前連結会計年度末比280,095千円増加)となりました。これは主に、現金及び預金が204,285千円増加したことと、コーチング関連のITプラットフォーム開発やAIコーチング開発投資により無形固定資産が106,237千円増加したことによるものです。

負債は1,522,736千円(前連結会計年度末比242,909千円増加)となりました。これは主に、今後サービス提供を予定している入金済み受注残高である前受金が325,176千円増加したことによるものです。

純資産は3,103,092千円(前連結会計年度末比37,186千円増加)となりました。これは主に、譲渡制限付株式報酬による新株式発行23,442千円により、資本金が11,733千円増加し、資本剰余金が11,708千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、2025年2月10日の「2024年12月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、上記の業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,358,057	3,562,342
売掛金	175,629	136,167
棚卸資産	9,426	5,908
その他	117,197	140,143
流動資産合計	3,660,310	3,844,561
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	77,232	67,890
工具、器具及び備品(純額)	9,152	7,200
有形固定資産合計	86,385	75,090
無形固定資産		
ソフトウェア	180,349	173,406
その他	188,839	302,020
無形固定資産合計	369,189	475,427
投資その他の資産		
投資有価証券	34,800	42,144
保険積立金	8,387	12,463
敷金及び保証金	121,575	116,665
繰延税金資産	49,040	43,431
その他	16,043	16,043
投資その他の資産合計	229,847	230,748
固定資産合計	685,421	781,266
資産合計	4,345,732	4,625,828

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	73,476	87,824
未払金	102,070	89,946
未払法人税等	65,409	5,984
未払消費税等	42,838	24,815
未払費用	10,489	11,968
前受金	852,895	1,178,071
賞与引当金	74,073	59,128
その他	15,535	25,606
流動負債合計	1,236,789	1,483,345
固定負債		
退職給付に係る負債	2,450	2,440
資産除去債務	39,246	35,620
その他	1,340	1,330
固定負債合計	43,037	39,390
負債合計	1,279,827	1,522,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	605,305	617,038
資本剰余金	593,662	605,371
利益剰余金	1,847,838	1,860,672
自己株式	△39	△73
株主資本合計	3,046,766	3,083,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,369	26,121
為替換算調整勘定	△2,229	△6,037
その他の包括利益累計額合計	19,139	20,083
純資産合計	3,065,905	3,103,092
負債純資産合計	4,345,732	4,625,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,720,542	2,562,389
売上原価	1,417,030	1,464,078
売上総利益	1,303,512	1,098,311
販売費及び一般管理費	1,170,466	955,640
営業利益	133,045	142,670
営業外収益		
受取利息	363	3,223
受取配当金	840	960
為替差益	3,964	-
その他	1,755	1,807
営業外収益合計	6,923	5,990
営業外費用		
為替差損	-	18,162
雑損失	-	787
営業外費用合計	-	18,949
経常利益	139,968	129,711
特別利益		
固定資産売却益	78	-
特別利益合計	78	-
特別損失		
固定資産除却損	62	2,202
事業構造改善費用	-	17,723
特別損失合計	62	19,926
税金等調整前四半期純利益	139,984	109,785
法人税、住民税及び事業税	64,216	47,115
法人税等調整額	1,221	2,992
法人税等合計	65,437	50,108
四半期純利益	74,546	59,677
親会社株主に帰属する四半期純利益	74,546	59,677

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	74,546	59,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,914	4,751
為替換算調整勘定	19,461	△3,808
その他の包括利益合計	17,546	943
四半期包括利益	92,093	60,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,093	60,621

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2025年5月16日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての新株式発行により、資本金が11,733千円増加し、資本準備金が11,708千円増加しております。

この結果、当中間連結会計期間末において資本金が617,038千円に、資本剰余金が605,371千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第3四半期連結累計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第3四半期連結累計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	66,976千円	63,982千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、コーチング事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。